

極多収な飼料用稲「ゆたかまる」「あおばまる」

極多収な、飼料用米品種「ゆたかまる」・稲発酵粗飼料（WCS）用品種「あおばまる」を開発しました。前者は令和2年、後者は令和3年に県の飼料作物奨励品種に指定されました。

研究成果の概要

1 背景・目的

米の消費量が減少するなか、水田の有効活用のため、国は飼料用稲の作付けを推奨しています。また、近年の畜産用飼料の高騰により、畜産農家からは良質で価格が安定した国産飼料の増産が望まれています。

そこで極多収で青森県で栽培可能な、飼料用品種の開発に取り組みました。

2 内容

- 米をエサとして利用する飼料用米品種「ゆたかまる」、茎葉を含めた稲全体を発酵させ粗飼料として利用するWCS用品種「あおばまる」を開発しました。
- 「ゆたかまる」は「まっしぐら」と同じ「中生の早」熟期で、耐倒伏性（倒れにくさ）やいもち病抵抗性が強いいため、多肥栽培が可能な極多収品種です。
- 「あおばまる」は「中生の晩」熟期で、前のWCS用品種である「うしゆかた」より極めて多収な品種で、飼料としての成分は「うしゆたか」と同じです。



「ゆたかまる」はトリやブタのエサとして



「あおばまる」はウシのエサとして

「ゆたかまる」の主な特性

品種名	出穂期 (月/日)	稈長 (cm)	玄米 収量 (kg/a)	対まっ しぐら 収量比	耐倒伏性	穂いも ち病 抵抗性
ゆたかまる	8/2	84	81.1	108	かなり強	極強
まっしぐら	8/4	74	75.2	(100)	強	やや強

「あおばまる」の主な特性

品種名	出穂期 (月/日)	黄熟 期※ (月/日)	稈長 (cm)	黄熟期 全重 (kg/a)	対うし ゆたか 収量比
あおばまる	8/6	9/9	96	155.2	125
うしゆたか	7/31	8/30	90	123.9	(100)

※出穂期から30日後程度の成熟前の時期。

3 活用等

- 「ゆたかまる」は令和2年に県の飼料作物奨励品種に指定され、令和5年は約4,700ha作付けされました。
- 「あおばまる」は令和3年に県の飼料作物奨励品種に指定され、令和5年は約150ha作付けされました。

関連情報

- 「ゆたかまる」の名前は「家畜が丸々と太り農家が豊かになるように」と願いを込めて命名されました。
- 「あおばまる」の名前は「大きく成長した青葉（茎葉）を食べて、家畜が丸々と太るように」と願いを込めて命名されました。

